

様式第 2 号（第 9 条関係）

会議録

会議の名称	令和 6 年度第 1 回ふじみ野市行政評価外部評価委員会			
開催日時	令和 6 年 7 月 2 5 日（木） 開会時刻 午前 1 0 時 0 0 分 閉会時刻 正午			
開催場所	ふじみ野市役所本庁舎 3 階 A 3 0 1 会議室			
出席した者の氏名	役職名	氏名	役職名	氏名
	委員長	木村 浩則	委員	尾澤 景子
	副委員長	原田 晴男	〃	粕谷 雄一
	委員	新井 雄一郎	〃	小池 泰
	〃	大平 聡男	〃	山崎 崇史
	〃	荻原 秀史		横田 俊幸
会議の議題	（１）今年度の外部評価委員会の概要について （２）ふじみ野市将来構想 from 2018 to 2030 前期基本計画実施施策の総括について （３）第 2 期ふじみ野市まち・ひと・しごと創生総合戦略令和 5 年度実施施策の効果検証報告について （４）今後の流れについて （５）その他			
会議の公開又は非公開の別	公開			
会議の非公開の理由	—			
傍聴人の数	0 人			
会議の内容	別紙のとおり			
会議資料	・次 第 ・ふじみ野市行政評価外部評価委員会条例 ・令和 6 年度ふじみ野市行政評価外部評価委員会名簿 ・ふじみ野市将来構想 from 2018 to 2030 後期基本計画 ・資料 1 ふじみ野市将来構想 from 2018 to 2030 前期基本計画総括表 ・資料 2 第 2 期ふじみ野市まち・ひと・しごと創生総合戦略効果検証報告書（令和 5 年度実施施策）			

		・（参考資料）令和５年度ふじみ野市行政評価外部評価委員会報告書
事務局		総合政策部経営戦略室
議事の確定	確定年月日	令和６年８月２日
	記名押印 又は署名	役職名 委員長 木村 浩則 ㊟ ※自署の場合は、押印不要です。

別紙

発言者	発言の要旨
	－開会－ －経営戦略室長あいさつ－
事務局	皆様、本日はご多用のところ、お集まりいただきまして、誠にありがとうございます。ただいまから、令和6年度第1回ふじみ野市行政評価外部評価委員会を開催いたします。会議に入ります前に、本会議は、「ふじみ野市審議会等の会議の公開に関する規則」におきまして、公開の対象となっております。本日の会議におきましては、傍聴人がおりませんのでこのまま進行いたします。
事務局	今年度は、全委員が改選となりますので、委員の皆様には市長から委嘱状を交付させていただきます。 －委嘱状の交付－
事務局	続きまして、市長よりご挨拶をいただきます。 －市長挨拶－
	－公務のため市長退席－
事務局	－資料の確認－
事務局	それでは、本委員会の庶務を担当する事務局から自己紹介をさせていただきます。 －事務局紹介－
事務局	今年度委員が改選となりましたことから、ふじみ野市行政評価外部評価委員会条例第5条第1項に基づき、委員長の選出をお願いしたいと思います。ご推薦等がありますでしょうか。
委員	（意見なし）
事務局	特にないようでしたら、事務局案といたしまして、前期でもお務めいただいた、委員長は木村委員に、副委員長は原田委員に引き続きお願いさせていただきたいと考えておりますがいかがでしょうか。

委員	異議なし
委員長	それでは、木村委員長、原田副委員長よりご挨拶をお願いいたします。 －委員長、副委員長挨拶－
事務局	ここからの進行につきましては、ふじみ野市行政評価外部評価委員会条例第6条第1項に基づき、木村委員長にお願いしたいと思います。よろしくお願いします。
委員長	それでは、ふじみ野市行政評価外部評価委員会条例の第5条第2項に基づいて、ここからは私の方で議事を進行させていただきます。
委員長	「議題1 今年度の外部評価委員会の概要」について、事務局から説明をお願いします。
事務局	－事務局より説明－
委員長	何か質問等がございますか。
委員長	ご質問等ないようでしたら、「議題2 ふじみ野市将来構想 from 2018 to 2030 前期基本計画実施施策の総括」について事務局からお願いします。
事務局	－配付資料に基づき、事務局より説明－
委員長	何か質問等がございますか。
委員長	資料の赤字部分はどのような意図があるのでしょうか。
事務局	事前に送付した資料から一部修正があったため、赤字は修正箇所となります。
委員長	達成状況が芳しくないものについて、諸所の事情があるとのことでしたが、例えば「公民館利用者数」について実態に基づいて目標値を修正することは検討しないのでしょうか。
事務局	今回の効果検証については、前期基本計画で定めた施策に基づく指

	標の達成率の検証としています。施策とは別に事務事業単位での評価もしており、そちらでは実態に基づいた指標の設定を行い、進捗状況を管理しています。 施策評価は前期基本計画の進捗管理となるため、指標の修正等ができず、現状に合わせた指標の達成率につきましては、二重構造になってしまいますが事務事業評価で確認いただきたいと思います。
委員	単年度で成果が出ない指標について、見せ方の工夫が必要なように感じますが、表記の仕方等なにか検討できるでしょうか。
事務局	目標値を単年度ではなく累計にする等の方法はあるかと考えますが、具体的な手法については検討していきます。
委員	「街頭犯罪件数」について令和３年度以降増加傾向ですが、犯罪件数の内訳について特徴的なものはありますでしょうか。
事務局	具体的な件数の資料がないため内訳の回答ができませんが、振り込め詐欺は増加傾向にあり、振り込め詐欺防止のための電話機の補助等について予算を増額し進めているところであります。
委員	分野間で達成率に差があるとの報告がありましたが、達成率が低い分野について、実績が伸びなかった主な要因は、当初指標を設定した時点からの環境変化が主な理由といった認識で良いでしょうか。
事務局	分野２についてはコロナ禍の影響も大きくあり、事業の実施回数や参加者数を指標にしたものについては、達成率が低くなっています。また、分野６の企業誘致については、現状なかなか難しく、達成に至りませんでした。
委員	新型コロナウイルス感染症の影響により、市民の生活スタイルは変わったと思います。目標値についてはコロナ禍前の想定のまま設定されているのでしょうか。
事務局	前期基本計画の目標値についてはコロナ禍前に設定したのですが、今年度から計画期間が始まる後期基本計画における目標値については、数値を改めたり、指標自体を変更したりするなど、コロナ禍以降の新しい生活様式を意識して見直しを図っています。 来年度以降の委員会では、後期基本計画で改めて設定した指標や目

	標値に対する達成状況を示し、評価をしていただく予定です。
委員長	他にご質問等ないようでしたら、「議題3 第2期ふじみ野市まち・ひと・しごと創生総合戦略令和5年度実施施策の効果検証報告」のうち「基本目標1」について、事務局から説明をお願いします。
事務局	—配付資料に基づき説明—
委員長	何か質問等はございますでしょうか。
委員長	将来構想と総合戦略の関係性について改めて説明をお願いします。
事務局	将来構想については市が独自に策定しているものですが、総合戦略は国からの要請により地方創生のための計画として平成27年度に策定しました。総合戦略についても毎年度効果検証を行うこととされていることから、昨年度までは総合戦略の審議会において効果検証報告を実施していました。
委員長	今年度は総合戦略の審議会ではなく、本委員会にて総括するという事でよろしいでしょうか。
事務局	第3期総合戦略について後期基本計画と一体的に策定したことから、今年度以降は本委員会でご審議いただきます。なお、今年度は第2期総合戦略の効果報告となるため、単独で報告書を作成していますが、来年度以降は後期基本計画における事務事業評価の中で総合戦略の欄を設け、全体的に進捗管理を行ったうえで評価をしていただく予定です。
委員長	後期基本計画と一体化したものの、総合戦略の計画自体は残るといった認識でよろしいでしょうか。
事務局	その通りです。元々2本の計画は性質が異なっていましたが、現状において人口問題や地方創生は市としても全体の課題となっており将来構想と重複する部分が多いことから、後期基本計画では一体的に策定しました。そのため、前期基本計画までは総合戦略と進捗管理が別になっていましたが、後期基本計画からは総合戦略と一体的に進捗管理を実施していきます。

委員長	総合戦略については、指標や目標値等についても国からの指示により設定しているものなののでしょうか。
事務局	国から大まかなテーマは示されていますが、計画の内容や具体的な指標等については市が独自に策定しています。
委員	総合戦略は国の施策を市の実態に合わせて落とし込み策定したものといった認識でよろしいのでしょうか。
事務局	総合戦略の策定自体は国からの要請ですが、具体的な内容については市で策定しています。一方で市の将来構想としても総合戦略と同じ視点を盛り込むことが必要であると考えたことから、第3期総合戦略については、後期基本計画と一体的に策定しました。
委員長	後期基本計画の指標のうち総合戦略に関連していないものもあるのでしょうか。
事務局	総合戦略のアイコンが付されていないものについては、関連していない指標となります。
委員	施策3のKPIである認定農業者数について、毎年増加を目指す指標でしたが、令和5年度は前年より1人減少しています。理由としては、高齢化による減少もあるのかと思いますが、数を減らさないために具体的に取り組んでいることはありますでしょうか。
事務局	新規で3人認定を行っていますが、高齢化等を理由に4人が再認定を辞退されました。農業分野で増やすための取組がなかなか難しいところではありますが、農業塾などを通して積極的に啓発活動をしていきたいと考えています。
委員長	他にご質問等ないようでしたら、「基本目標2」について、事務局から説明をお願いします。
事務局	—配付資料に基づき説明—
委員長	何か質問等はございますでしょうか。
委員長	施策6の不登校児童生徒数について、令和2年度から比較すると倍

	増しています。今は学校の中で居場所を作るだけでなく、地域に居場所を作るため文部科学省が舵を切り始めたところであります。若者の引きこもりについて何か数字は把握していますでしょうか。
事務局	若者の引きこもりについては把握が難しく、親御さん等が相談に来て初めて把握できる状況です。それでもごく一部であり、潜在的な数は多いのではないかと考えています。
委員	不登校の児童生徒について、今は学校に早く登校できるようにしようという考えではなく、時間をかけていつか来られるようにといった相談体制を厚くしているように感じます。そのため、現場の先生たちにとって KPI を意識して取り組むような課題ではなく、指標としてそぐわないのではないかと考えます。
委員	教員数が少なく、校長先生や教頭先生が対応しないといけない事態が増えていると聞いています。年度途中の退職者も多いとのことですが、教員の確保について市としてはどのように考えていますか。
事務局	デジタルの導入等により教員の働き方改革については注力しているところですが、教員の採用や配置については埼玉県教育委員会が担っているため、市としては難しい状況です。しかしながら、少人数指導支援員や教科補充講師、学び育ちサポーターを採用することで教員をサポートできる人員の確保には努めており、近隣自治体と比べても比較的多くの人数を配置し、学校からも一定の評価を得ています。
委員	働き方改革の一環として、実質学校において部活動を実施せず、地域単位の取組にしようとしているようです。地域には担い手が少なく今後の動向に不安があります。
事務局	部活動を実施しないことで休日の子どもの居場所づくりも課題となってきます。市では文化協会やスポーツ協会にご協力いただき休日に中高生を対象とした事業を実施いただいています。
委員	文化協会の事務局を務めており、先日は市内中学校の美術部の指導に参加しました。今後は行政だけでなく、文化協会やスポーツ協会、自治組織等、地域で連携していく必要があると考えます。ふじみ野市は地域力があり、潜在的な人の力があると思うので、行政と

	して個々の力を生かせるよう人と人をつなげる仕組みづくりを検討してほしいです。市の施策における指標についても、分野ごとに単独で考えるのではなく、複数の分野で連携した指標設定等を加味したほうがいいと感じます。また、指標については、その時の社会状況に応じて柔軟に修正する等対応できるといいのではないかと考えます。
委員長	他にご質問等ないようでしたら、「基本目標３」について、事務局から説明をお願いします。
事務局	—配付資料に基づき説明—
委員長	何か質問等はございますでしょうか。
委員	施策１１の放課後子ども教室の登録率に対する目標値１００％は、定員に対する登録率といった認識でよろしいでしょうか。また、指導員については担い手の確保の観点から有償がいいと考えますが、現状はどうなっていますでしょうか。
事務局	募集定員を１００％としてそれに対する参加者を登録率として実績を出しています。また指導員については有償ボランティアとして謝礼をお支払いしています。
委員	放課後子ども教室の取組は非常にいいものであると感じますので、継続するためにも指導員の育成が今後必要になると思います。そのため、参加者側の指標も大事だと思いますが、指導員の数など運営側の目標値も設定されるといいのではないかと考えます。
委員	施策１０の保育所の待機児童数について０人となっていますが、表面化していない待機児童もいるのではないのでしょうか。
事務局	待機児童数については国が示している指針に合わせて算出したものになっており、入所申込数に対する入所者数とは差が生じます。
委員	子育てをしやすい環境を目指す上で、潜在的な数にも目を向けてもらいたいと思います。
事務局	今後、国においてこども誰でも通園制度が進められれば、入所者の

	裾野が広がると思いますが、まずは現在の基準に合わせた入所選考を行っていきます。
委員長	他にご質問等ないようでしたら、「基本目標４」について、事務局から説明をお願いします。
事務局	—配付資料に基づき説明—
委員長	何か質問等はございますでしょうか。
委員	施策１４について、スポーツイベントの回数が昨年度と比較し大きく増えましたが、実施回数が増えた要因は何でしょうか。
事務局	昨年度より新たな取組としてインクルーシブな「まぜこぜ運動会」を開始し、１０回程度開催しました。
委員	施策１３の環境学習講座への募集について、電子化を進めたところ応募者数が減少したと記載されています。環境への配慮からペーパーレスは推進されていますが、ものによってはアナログが好ましいこともあると思います。ペーパーレスを推進することで環境学習の機会が減ることは本末転倒であるため、本当の意味でのＳＤＧｓに繋がるか考え取捨選択をして進めてください。
事務局	試用でペーパーレスにしたところ応募者数が減少したとのことでありました。今後の運用について、お知らせなどは紙での配布を継続する必要があるかと考えていますが、庁内の会議資料等については引き続き電子化を図っていきます。
委員	施策１４に空き家バンク登録件数の指標があるが、市全体の空き家件数は把握していますか。
事務局	具体的な件数は把握できていませんが、埼玉県内において本市の空き家数は多いと認識しています。一度空き家になってしまうと管理が難しく問題も発生しやすいです。特定空き家への指定も進んでいないため、対応に苦慮しているところであります。
委員長	他にご質問がないようでしたら、「令和５年度新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金交付事業の実施状況及び効果検証」

	について説明をお願いします。
事務局	—配付資料に基づき説明—
委員長	何か質問等がございますでしょうか。
委員長	交付金の使途は市が決めているのでしょうか。
事務局	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金には、昨年度 2 つのメニューがありました。1 つは低所得世帯支援枠となっており、これについては国から実施内容が指定されています。もう 1 つの推奨事業メニュー分については物価高騰等の影響を受けたものに対する支援であれば、地方単独事業として自治体で使途を決定できます。
委員長	今年度も交付はあるのでしょうか。
事務局	今年度新たに交付されているものは現時点ではありませんが、昨年度、新たに物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金が交付されました。この一部について繰越明許を行い今年度活用し、推奨事業メニューとしては、昨年度と同様に消費活性化クーポン事業を実施します。また、低所得世帯支援として昨年度から引き続き 7 万円の給付を行うとともに、新たに非課税になった世帯への給付や子どもがいる低所得世帯への加算給付、定額減税で 4 万円を減額しきれない方に対する調整給付等を行います。低所得世帯支援分につきましては、今後交付される見込みです。
委員長	本日も議論いただいた内容は、資料の各基本目標における「評価及び今後の方向性」欄と最終ページの総括にあります「審議会の意見」欄に記載することになります。「審議会の意見」欄に記載する文案につきましては、私にご一任いただければ、後日、事務局と調整をして作成をいたしますが、いかがでしょうか。
委員	異議なし
委員長	ありがとうございます。 それでは、続きまして議題 4 「今後の流れについて」事務局より説明をお願いします。

事務局	—以下の２点について、説明— ①総合戦略効果検証報告書の議会送付について 9月中旬に議会送付予定。委員の皆様へは8月下旬頃に送付予定。 ②第2回会議の開催について 次回会議は10月10日（木）午前10時からを予定しています。 議題は次年度以降の後期基本計画における各施策の評価方法についてとなりますが、内容によっては書面開催も検討していますので、 また改めて通知いたします。
委員長	何か質問等ございますでしょうか。ないようでしたら、最後に「議題5 その他」について、事務局から何かありますでしょうか。
事務局	事務局より、2点、事務連絡をさせていただきます。 ① 報酬の支給について ② 駐車券の無料処理について
委員長	それでは、本日の議題は終了しましたので、議事の進行を事務局にお返ししたいと思います。
事務局	本日はお忙しい中、ご出席いただき、誠にありがとうございました。それでは、令和6年度第1回ふじみ野市行政評価外部評価委員会を終了します。